目次

第一編　現代東京書籍商史　17
緒言　17
第一章　東京書籍出版営業者組合の創立　19
第一節　東京書籍出版営業者組合規約　21
第二節　組合規約の修正　26
第二章　最初の建議建白書　28
第一節　出版條例に付建議　28
第二節　教科書出版に関し建白議　30
第三章　図書館の濫觴と貸本屋　34
第四章　明治初、中期の業界　35
第一節　明治初年の東京書林　35
第二節　雑誌興敗の跡　41
第三節　博文館創業前後の業界　44
第五章　図書大市会の起源と成績　46
第六章　制度次第に定まる　48
第一節　規約第七條の励行　48
第二節　明治二十四年の規約修正　48
第三節　押切帳規程の新定　51
第四節　規約第七條細則制定　51
第五節　雇人奨励規程　53
第七章　組合の対外運動記録　56
第一節　出版條例改正請願　56
第二節　小学教科書国定反対意見　62
第三節　萬国版権保護同盟條約に付建議　64
第四節　印刷料紙輸入税全廃請願　65
第五節　清国に於ける我版権問題　67
第八章　更生せる東京書籍商組合　68
第一節　注目すべき明治三十五年の躍進　68
第二節　東京書籍商組合新規約　69
第三節　明治三十六年の規約修正　79
第四節　新加入者商号使用規程　80
第五節　明治三十九年の規約修正及施行細則新定　81
第六節　明治四十一年の規約修正　82
第七節　大正四年の規約修正　84

第八節　図書通帳取扱規程　86
第九節　大正八年の規約修正及び販売規程制定　87
第十節　其後の規約修正　98
第九章　国定教科書の沿革　99
第一節　小学校教科書国定の機運迫る　99
第二節　国定以前の変遷　102
第三節　国定後の状勢　107
第十章　其後の対外運動　109
第一節　外国図書付属品輸入税撤廃運動　109
第二節　営業税及び関税廃改運動　111
第三節　著作権法修正の陳情　114
第四節　営業税全廃請願　115
第五節　紙価暴騰抑制運動　116
第六節　営業税軽減に付陳情　126
第七節　営業税免除の請願　127
第八節　発行者に薄き著作権法改正の請願　131
第九節　関税定率法改正反対運動　137
第十一章　組合創立二十五周年記念会　140
第十二章　定価販売実行と全国連合会成立　141
第十三章　関東大震火災の犠牲　141
第一節　惨死者五十有余名　141
第二節　図書払底と中間景気　143
第三節　委托品計算と火災保険　143
第四節　復興後第一次の大市会　144
第十四章　銀行破綻の影響と善後策　144
第十五章　円本の出現と労働争議　146
第一節　円本時代　146
第二節　労働争議　147
第十六章　組合員の分布状態　148
第十七章　創立以来の正副頭取組長　149
第十八章　累年組合収支計算表　150
第二編　各団体沿革史　152
緒言　152
第一章　東京出版協会史　152
第一節　大正時代　152
第二節　昭和時代　155

第二章　中等教科書協会史　158
第三章　全集発行者協会史　160
第四章　日本雑誌協会史　167
第五章　小売業展望　169
第一節　東京図書雑誌小売業組合小史　172
第二節　東京図書雑誌販売業連合会小史　174
第三節　東京雑誌販売業組合小史　175
第六章　全国書籍商連合会略史　178
第七章　我国出版界の現勢　178
第一節　我が国出版界の分野　179
第二節　我が国出版界の業況　180
最近出版図書累年比較表　180
列国の出版図書　182
第八章　講座物と全集物一覧　183
第九章　雑誌一覧表　194
第三編　現代大阪書籍商史　217
第一章　大阪書籍雑誌商組合の創成と発達　217
第一節　大阪市書籍商組合　218
大阪市書籍商組合規約　218
組合人名簿　222
第二節　組合規約改正　238
大阪書籍商組合規約　238
商取引規則　243
小売規則　244
仲裁規則　245
第三節　大阪雑誌販売業組合　246
大阪雑誌販売業組合規約　249
書籍商組合と雑誌販売業組合の合併　256
第四節　書籍販売価格協定　257
第五節　小売委員会の治績　260
第六節　書籍商組合の史的考察　265
第七節　書籍雑誌組合の合併に関する経緯　267
第八節　全国組合連合と大阪組合の歴史的関係　272
第九節　現行の規約及附属規程　277
第二章　大阪図書出版業組合大要　299

緒言　299
大阪図書出版協会設立の過程　303
第三章　御文庫講　319
第一節　住吉御文庫　319
第二節　天満御文庫　324
第三節　御文庫社申合規約　325
第四章　京都書籍商組合規約の断片　327
出版関係広告　343